特定機能病院 / 地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪国際がんセンター 広報誌

OICIだより

Take free

Osaka International Cancer Institute

季刊 Vol. 024 2026 Autumn

★CONTENTS

01 もっと知りたい、手術用ロボットのこと ダビンチSPが活躍中！
02 サービスがさらに充実！ プレミアム個室のご紹介
02 3階 CT検査更衣室をリニューアルしました
03 第2回 地域との交流会を開催しました
03 放射線治療装置の連続稼働が表彰されました
04 学会での発表・受賞のご紹介
05 病院給食には種類がある
～実は一人ひとりに合わせたオーダーメイドです～
05 「ほしいものリスト」を通じた温かいご支援に感謝を込めて
06 【連載】 はい、こちら 「がん相談支援センター」 です
07 寄付者ご芳名
07 ご寄付のお願い



もっと知りたい、手術用ロボットのこと

ダビンチSPが活躍中！

Q 手術用ロボットって？

A 患者さんの負担を減らすために生まれた手術機器です

がんの治療の中心は手術ですが、手術による痛みや患者さんへの負担をできるだけ少なくする取組み（低侵襲手術）が進められてきました。

機械工学などの進歩により、その目的に合った手術機器が開発され、4本の腕（アーム）を持つことから「ロボット」と呼ばれるようになりました。

Q ダビンチSPの特徴は？

A 傷が少なく、患者さんの負担を軽減します

ダビンチ SP は、1 本の腕（アーム）にカメラと手術器具（鉗子）がまとまっています。傷は 1 か所のみのため、痛みはさらに少なく、ほとんど目立ちません。

※術式や手術中の状況によっては、1 か所の傷だけでは手術を完遂できない場合があります。



Q どの診療科でダビンチSPを用いた手術をしていますか？

A 6つの診療科でダビンチSP手術を実施しています

2026 年 9 月 16 日時点で、当センターでは大腸外科、乳腺外科、婦人科、胃外科、泌尿器科、頭頸部外科の 6 診療科で、ダビンチ SP を用いた手術を実施しています。

中でも、ダビンチ SP を用いたのどのがん手術を提供できる施設は、全国的にもまだ限られています。当センターでは、こうした手術を提供することで、大阪府のみならず、関西圏におけるがん治療の向上にも大きく寄与しています。

Q ダビンチSPの手術件数は？

A 月間20件程度です

Q ダビンチSPの動いているところを見たい

A 紹介動画をご覧いただけます。

ダビンチ SP が実際に動く様子は、インテュイティブサージカル社のウェブサイトでご覧いただけます。

https://www.intuitive.com/ja-JP/products-and-services/da-vinci/systems/sp

出典：インテュイティブサージカル社ウェブサイト

Topics 2

サービスがさらに充実！ プレミアム個室のご紹介

8 階なでしこ病棟には、プレミアム個室（全 5 室）をご用意しています。白やベージュを基調とした温かみのある室内には、ユニットシャワー・トイレ、洗面台、クローゼットなどを備え、読書やお食事など、思い思いの時間をお過ごしいただけます。

また、ソファーやミニテーブルを備えており、面会の方にとっても快適な空間となっています。テレビや冷凍冷蔵庫を無料でご利用いただけるほか、新たにタオル・バスタオルも無料でご用意し、入院時のお荷物の負担を軽減します。



さらに、プレミアム個室には、窓から大阪城をご覧いただける「プレミアム個室専用デイルーム」を設けています。電子レンジ、トースター、電気ケトルを設置し、より快適にご利用いただけるようになりました。

落ち着いた空間と充実したサービスで、入院生活を心地よくお過ごしいただけます。ぜひこの機会にご検討ください。







設備などの詳細は、当センターのホームページをご覧ください。
https://oici.jp/hospital/patient/nyuuinmachi/yuryoushitsuryoukin/

Topics 3

3階 CT検査更衣室をリニューアルしました

当センター 3 階の CT 検査更衣室をリニューアルし、8 月 3 日（木）より新たな運用を開始しました。

今回のリニューアルでは、患者さんにより利用しやすい環境を整えるため、これまで 2 室あった更衣室のレイアウトを見直し、女子更衣室・男子更衣室ともに更衣スペースを拡大しました。

あわせて、より大きなロッカーに変更し、検査時のお荷物やお着替えを収納しやすくしています。これまでより広々とした空間となり、ゆとりをもってお着替えいただけるようになりました。

CT 検査を受けられる患者さんに、少しでも安心して検査に臨んでいただけるよう、今後も患者さんからの声を大切にしながら、より利用しやすい院内環境づくりに取り組んでまいります。検査の際は、新しくなった更衣室をご利用ください。

▼3階放射線診断・IVR科の平面図







Topics 4

第2回 地域との交流会を開催しました

8階さくら病棟　中川 真弓

6月4日（木）、昨年度に続き、第2回「地域との交流会」を開催しました。この交流会は、患者さんが安心して退院し、住み慣れた地域でその人らしい生活を続けられるよう、病院と地域の医療・介護関係者が互いの役割を理解し、連携を深めることを目的としています。

今回のテーマは「がんと共に生きる患者さんを支えるパートナーシップ～金銭面で困っている患者への対応と情報共有の工夫～」です。当日は、地域の訪問看護師や在宅医療コーディネーター、病院関係者などが参加し、11 グループに分かれて、経済的な問題を抱える患者さんへの相談対応や社会保障制度、支援機関との連携方法などについて意見を交わしました。

参加者からは、「病院での実情を知れてよかった」「在宅での具体的な金銭的な対策の話をきけてよかった」「異なる視点の意見がきけて有意義な時間でした」などの声が寄せられました。

今後も交流の機会を継続し、顔の見える関係づくりと相互理解を深め、地域との連携強化に努めてまいります。


交流会の様子


参加者の皆さん

Topics 5

放射線治療装置の連続稼働が表彰されました

放射線腫瘍科スタッフ一同

当センターの放射線治療装置（リニアック）※の安定稼働が評価され、治療機器メーカーより表彰を受けました

2026年4月20日時点で、当センターの1台のリニアックは、開院以来3,400日以上にわたり、故障による治療中断患者を1人も出すことなく稼働を継続しています。
また、他の装置でも1,500日、1,000日以上の連続稼働を達成しています。

放射線治療では、リニアックと呼ばれる装置を使用し、がんに対して高精度に放射線を照射しています。毎日安定して治療を行うためには、装置の点検や品質管理に加え、故障が起きても患者さんの治療を止めない仕組みが重要です。

当センターでは、同じ種類の装置を 2 台ずつ導入し、どちらでも同じ品質で治療できるよう、日頃から調整や品質確認を行っています。万が一1台が停止した場合も、別の装置へ切り替えて治療を続けることができます。

また、装置トラブルの際には、医師、看護師、受付スタッフ、診療放射線技師、医学物理士などが連携し、患者さんへの連絡や治療スケジュールの調整を迅速に行っています。治療機器メーカーとも情報を共有し、小さな異常にも早めに対応しています。

これからも多職種で協力しながら、患者さんが安心して治療を受けられる環境を支えてまいります。



学会での発表・受賞のご紹介

第126回 日本外科学会で Young Investigator' s Awardを受賞

消化器外科　北風 雅敏

「ロボット支援直腸癌手術の短期成績とコスト分析」



発表の様子

英文医学誌「AGSurg」のベスト査読者賞を受賞

消化器外科　賀川 義規

「AGSurg Best Reviewer Award 2026」


消化器外科の皆さんと賀川先生（前列中央）

日本がん登録協議会第35回学術集会にてがん対策センター職員2名が合計3つの賞を受賞

◆ **疫学統計部　稲岡 史絵**

・がん登録実務功労者表彰

・最優秀口演賞

「高難度手術施設の集約化：大阪府における食道がんと胃がん」

◆ **疫学統計部　原 加奈子**

・優秀口演賞

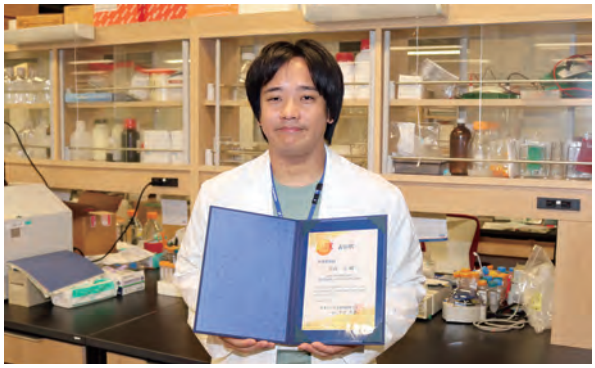
「悪性軟部肉腫における施設ボリュームと生命予後の関連」



日本がん分子標的治療学会研究奨励賞を受賞

次世代がん医療開発研究センター　中山 淳

「乳がん転移機構の解明と転移性腫瘍に対する新規治療法の開発」



第78回 日本細胞生物学会大会「学生優秀ポスター賞」を受賞

連携大学院*（平塚 徹研究室）　王（オウ） 紫微（シビ）

「Deregulation of cell-cell propagation of ERK signaling in epidermal cancer cells」



平塚 徹研究員（左）とともに

＊大学と学外の専門的な研究機関が協力し、学生を指導する大学院教育の仕組み

Topics 7

＼ 管理栄養士からのお知らせ ／

病院給食には種類がある
～実は一人ひとりに合わせたオーダーメイドです～

栄養管理部門　松岡 美緒

「常食」「糖尿食」「減塩食」「軟菜食」…
普段の生活ではあまり耳にしない言葉かもしれませんが、これらは病院で提供している給食の種類を指す名称です。実は、その食種（食事の種類）ごとに「栄養素」、「量」、「食材」、「食材の硬さ・大きさ」などが細かく決められています。

食種の数は医療機関によって異なりますが、当センターでは 78 種類の食種を用意しています。「そんなに多いの？」と驚かれるかもしれません。学校給食では「みんな同じメニュー」でよいですが、病院給食は一度に大量に作る点は同じでも、内容は一人ひとりの病状に合わせたオーダーメイドになっています。

食種は、血糖値や血圧のコントロールといった治療目的で選ぶこともあります。しかし、がん治療では「食べたものが消化管を通りにくい」「口内炎で食べ物がしみる」など、食事に工夫が必要な症状がみられます。そのような場合でも、少しでも食事が摂れるように、個々の病状や症状に合わせて選択し、必要に応じて複数の食種を組み合わせることもあります。さらに、同じ食種の中でも、パン・ごはん・おかゆといった主食の種類や量の調整、食物アレルギーへの対応、苦手な食材の除去など、細やかな調整も行っています。

もし「病院食が合わない」「食べにくい」と感じることがあれば、どうぞ遠慮なく管理栄養士にご相談ください。あなたに合った食事を一緒に見つけていきましょう。



Topics 8

「ほしいものリスト」を通じた温かいご支援に感謝を込めて

大阪国際がんセンターでは、患者さんにより良い医療や療養環境を提供するため、皆さまからのご寄付を受け付けています。

その取り組みのひとつとして、昨年度より Amazon の「ほしいものリスト（ウィッシュリスト）」を活用し、当センターで必要な物品をホームページで公開しています。届けたい物品をお選びいただき、直接ご寄付いただける仕組みです。

公開以来、多くの皆さまから継続して温かいご支援をお寄せいただいています。その一つひとつのお気持ちに、職員一同、心より御礼申し上げます。

これまでに、入院中に利用する家電品や事務用品、院内託児所の絵本など、さまざまな物品をご寄付いただき、必要な部署で大切に活用しています。

改めまして、皆さまの温かいご支援に深く感謝申し上げます。これからもご支援を有効に活用し、患者さんにとってより良い環境づくりに努めてまいります。

皆さまのあたたかいご支援が日々の笑顔につながっています

託児所より





いただいた積み木や絵本で、楽しい時間が増えました♪
子どもたちの笑顔につながっています！

病棟より



電子レンジやケトルは患者さんがより
快適に過ごせる環境づくりに役立っています

欲しいものリストはコチラ
https://oici.jp/center/effort/wish-list/

その他の寄付はコチラ
https://oici.jp/center/effort/donation/

はい、こちら「がん相談支援センター」です

がん相談支援センター / 患者総合相談室　森山 彩香

【file 024】　「アピアランスケアセンター」開設のご案内 ～治療中も自分らしく生活するために～

がん治療に伴う脱毛や皮膚・爪の変化、手術の傷あとなど、外見（アピアランス）の変化に不安やつらさを感じていませんか？

国立がん研究センターが運営する「がん情報サービス」では、アピアランスケアを「がんやがんの治療によって外見（見た目）が変わっても、心地よく生活を送ることができるように行われるもの」と説明しています。

このたび当センターでは、患者さんやご家族が治療中も安心して自分らしい日常を継続できるよう、関係部署が連携して「アピアランスケアセンター」を開設いたしました。外見の変化に対する治療やケア、ウィッグやメイクで見た目を整える工夫、そしてお気持ちや社会生活での悩みについて一緒に考え、必要な情報をお届けします。

アピアランスケアセンターでは、がん相談支援センターを相談窓口として、当センターで治療されている患者さん・ご家族からのアピアランスケアに関するご相談をお受けし、必要に応じて専門のセクションにおつなぎします。

また、当センターに通院中の患者さんについては、地域の医療機関や訪問看護ステーションからのご相談もお受けしています。他の医療機関で治療中の方や地域の方からのご相談にも、一般的な情報提供でお応えします。

アピアランスケアに関する情報のリーフレットをご覧いただけます

国立がん研究センター 中央病院
アピアランス支援センター
https://x.gd/4oIQT

アピアランスケアセンターでは、当センターで治療されている患者さん・ご家族を対象に7つのセクションが、各医療チームや診療科と連携して専門的なご相談に対応します。

1. がん薬物療法看護外来	皮膚障害・爪症状・全身の脱毛・髪質の変化や治療に伴う不安の相談（外来化学療法室・腫瘍皮膚科等）
2. 乳がん看護外来	乳房の変化に伴う不安・乳房補整具・乳房手術後の下着の相談（乳腺・内分泌外科）
3. 放射線治療看護外来	放射線治療に伴う皮膚炎へのケア　（放射線腫瘍科）
4. 皮膚・排泄看護外来	ストーマ（人工肛門・人工膀胱）ケア全般　（大腸外科・泌尿器科）
5. リンパ浮腫外来	手術療法・薬物療法・放射線療法に伴うリンパ浮腫への支援（リハビリテーション科）
6. 心理相談	外見の変化・治療に伴う不安・気持ちのつらさへの支援
7. がん相談支援センター	アピアランスケアに関する社会資源の情報提供･社会参加（就労･就学）に伴う相談

**アピアランスケアについて「どこに相談したらいいかわからない」と
お一人でお悩みを抱え込まず、どうぞご相談ください。**

電話対応時間：月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）　午前 10 時～午後 4 時

♥がん相談ホットライン（情報提供・相談専用）☎ 06-6945-1870

ご寄付について

寄付者ご芳名　　2026年6月1日～9月30日

受領日順／ご希望者のみ掲載

向井 闘志様、岡田 明子様、中村 卓様、高山 富士夫様、谷垣 彰一様、松崎 哲也様、小坂 美里様、石津 文乃様
金子 秀樹様、前田 幸治様、堀野 博史様、安藤 喜美枝様、津民 隆雄様、渡邉 岳志様、富田 典子様、加藤 順子様
足立 恵司様、塚本 有紀子様、平野 忠宏様、阿形 友紀乃様、阿形 美和様、堂園 浩平様、大阪協栄信用組合様
都市クリエイト株式会社様、日本建物株式会社様、梅嵜 圭吾様、大村 泰隆様、藤川 里美様、李 麗麗様
石川 和男様、深海 麗様、鴛海 昌雄様、大原 大治様、金子 直基様、岡本 守男様、吉村 浩一郎様、池嵜 優子様
平畑 京香様、鈴木 尚子様、康村 健二様、山口 和也様、田中 順一郎様、越野 義明様、原 明伸様、藤本 祐加様
河内 徹雄様、立神 榮恵様、森川 博様、藤本 佳世様、福田 恩全様、大野 真弘様、山本 功様、森田 春美様
明石 港司様、龍見 知宏様、森 茂利平様、柘植 純子様、株式会社コンサス様、吉田 要様、吉川 優子様
川辻 良易様、小林 裕弘様、有限会社ティー・エヌ・プラン様、栢 眞紀夫様　　他　匿名者 75 名

このたびもさまざまな個人や法人の方々から、貴重なご寄付を頂きました。ありがとうございます。温かいお心遣いに感謝するとともに、ご厚意に報いるべく、これからも患者さんにより良い医療とサービスを提供してまいります。

ご寄付のお願い

当センターは、常に「患者さん目線」で治療に当たるセンターでありたいと考えています。患者さんの療養環境の改善や充実した医療を提供していくため、皆さまからのご支援をお願いしています。

Web サイトからのお手続きも可能です

従来の申込方法に加え Web サイトからでもご寄付のお申込みを受け付けております。
クレジットカード、Google Pay、Apple Pay、amazon pay、PayPay、銀行振込
によりご寄付いただくことが可能です。

OK VISA G Pay AMERICAN EXPRESS JCB Diners Club INTERNATIONAL Pay amazon pay

https://oici.jp/center/effort/donation/donation-application/

OICIだより 2026年秋号 〈季刊〉

特定機能病院 / 地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪国際がんセンター

発行　大阪国際がんセンター
編集　事務局　経営改革グループ

〒 541-8567
大阪市中央区大手前 3-1-69
TEL.06-6945-1181（代表）

2026 年 10 月発行

アンケートにご協力をお願いします
https://forms.gle/9jfg5rkKkiqDbPBs8



◆電車でご来院の場合
Osaka Metro「谷町四丁目駅」北改札口から徒歩約5分/
京阪電車「天満橋駅」東改札口から徒歩約10分

◆バスでご来院の場合
大阪シティバス 「大阪城大手前駅」より徒歩約4分

◆オンデマンドバスでご来院の場合
「谷町二丁目中」より徒歩約6分／「大阪城大手前90」より徒歩約3分

◆お車でご来院の場合
東大阪線「法円坂出口」より約5分／東大阪線「森之宮出口」より約8分

ホームページ https://oici.jp/
フェイスブック @oici.jp
ライン https://lin.ee/ZOcDHhU
インスタグラム @oici_1181

※ QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。